

【表紙】

【提出書類】	訂正有価証券届出書
【提出先】	関東財務局長殿
【提出日】	2024年3月28日提出
【発行者名】	イーストスプリング・インベストメンツ株式会社
【代表者の役職氏名】	代表取締役 佐藤 輝幸
【本店の所在の場所】	東京都千代田区丸の内二丁目 6 番 1 号 丸の内パークビルディング
【事務連絡者氏名】	岡本 みのり
【電話番号】	03-5224-3400
【届出の対象とした募集（売出）内国投資 信託受益証券に係るファンドの名称】	イーストスプリング新興国スタープレイヤーズ
【届出の対象とした募集（売出）内国投資 信託受益証券の金額】	1兆円を上限とします。
【縦覧に供する場所】	該当事項はありません。

1【有価証券届出書の訂正届出書の提出理由】

2024年1月23日付をもって提出しました有価証券届出書（以下「原届出書」といいます。）において、「第二部 ファンド情報 / 第1 ファンドの状況 / 1 ファンドの性格 / (1) ファンドの目的及び基本的性格 / ファンドの特色」に記載する運用プロセスについて、記載事項の一部に変更が生じたのでこれを訂正するため、本訂正届出書を提出します。

2【訂正の内容】

<訂正前>および<訂正後>に記載している下線部_____は訂正部分を示します。

第二部【ファンド情報】

第1【ファンドの状況】

1【ファンドの性格】

（1）【ファンドの目的及び基本的性格】

<訂正前>

ファンドの特色
（略）

3 銘柄選定にあたっては、「投下資本利益率」、「業界内での競争優位性」、「株価の上昇余地」、「ESG(環境・社会・ガバナンス)理念」に着目します。

運用プロセス



① 「投下資本利益率(ROIC)」

・各業界内において上位1/4に入る企業を選

別「投下資本利益率」とは・・・

事業に投じた資金(投下資本)を使って、企業がどれだけ効率的に利益を上げているかを見る指標です。

② 「業界内での競争優位性」

・企業の成長性や価格競争力などをスコアリングし、各業界内において総合力で上位1/4に入る企業を抽出

③ 「株価の上昇余地」

・企業の本源的価値を計測し、現在の株価から上昇余地が大きいと見込まれる銘柄を分析

④ 「ESG理念」

・運用委託先であるフロントベル・アセット・マネジメントAGが独自に設定した基準に合致しているかを確認
・業種ごとにESGの評価ウェイトの配分を変更してスコアリングし、一定水準に達しない企業を除外

※当ファンドでは、ESG理念をその他の要素と並ぶ一つの要素として重視していますが、ESGを投資対象選定の主要な要素として運用しているファンドではありません。そのため、ESG投信に該当しません。

運用プロセスの一貫性の確認およびパフォーマンスの検証のために、ポートフォリオのモニタリングと継続的な分析の実施

上記の運用プロセスは今後変更される場合があります。

（略）

<訂正後>

ファンドの特色
（略）

3 銘柄選定にあたっては、「投下資本利益率」、「業界内での競争優位性」、「株価の上昇余地」、「ESG(環境・社会・ガバナンス)理念」に着目します。

運用プロセス



① 「投下資本利益率(ROIC)」

- ・各業界内において収益力の高い企業を選

別「投下資本利益率」とは・・・

事業に投じた資金(投下資本)を使って、企業がどれだけ効率的に利益を上げているかを見る指標です。

② 「業界内での競争優位性」

- ・企業の成長性や価格競争力などをスコアリングし、各業界内において総合的に競争力の高い企業を抽出

③ 「株価の上昇余地」

- ・企業の本源的価値を計測し、現在の株価から上昇余地が大きいと見込まれる銘柄を分析

④ 「ESG理念」

- ・運用委託先であるフロントベル・アセット・マネジメントAGが独自に設定した基準に合致しているかを確認
- ・業種ごとにESGの評価ウェイトの配分を変更してスコアリングし、一定水準に達しない企業を除外

※当ファンドでは、ESG理念をその他の要素と並ぶ一つの要素として重視していますが、ESGを投資対象選定の主要な要素として運用しているファンドではありません。そのため、ESG投信に該当しません。

運用プロセスの一貫性の確認およびパフォーマンスの検証のために、ポートフォリオのモニタリングと継続的な分析の実施

上記の運用プロセスは今後変更される場合があります。

(略)